

令和8年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
1	個別避難計画について、北中道地域は運用されているか。	まちづくり分野に関する勉強会	計画が策定され、集会所に納品するところまではできている。センシティブな内容なので、鍵のかかるところに保管されている状況。今後、段階的に、策定したものを使えるようにしたい。	計画は策定されているものの、地域で運用できるまでに至っていないことから、講習会などを開催し、被災時に運用できるよう支援を行っていく。	市民協働課
2	東成区災害時協力企業等登録事業所について、登録したままで終わってしまっていないか気がり。登録後の企業間交流などを行っていかねばいけないと思う。	まちづくり分野に関する勉強会	企業も、担当者がかかるなどの理由により、登録していること自体を認識されていない可能性もあることから、登録内容に変わりがいか棚卸を行うとともに、企業同士のつながりも作っていかないと考えている。	東成区災害時協力企業等登録事業所について、登録内容に変わりがいか棚卸を行うとともに、地域を踏まえ企業間交流が行える場の提供を行っていく。	市民協働課
3	自家発電は中学校避難所にはあるが小学校避難所にはないと聞いた。夜に避難するときはどうするのか。訓練でもそのあたりの内容について周知してほしい。	まちづくり分野に関する勉強会	学校の空調機には発電機能がついており、有事の際はそれを活用することになる。また、一部学校の屋根にはソーラーパネルを設置しており発災時にはそちらも活用できるようにするなど、大阪市全体で電源確保に向けた取組を進めている。さらには、市として蓄電池を購入して今年度内を目途に各避難所に2台ずつ配備する予定である。	会議での回答のとおり	市民協働課
4	震災訓練や地域活動について、他地域の取組を共有してほしい。	まちづくり分野に関する勉強会	他地域の災害訓練・地域活動の取組については、区役所がハブとなって、好事例などを地域間で共有できる仕組みを整えてまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課

令和８年度第１回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
5	令和８年度運営方針を作成する前に、例えば町会加入促進（町会加入率）を評価指標にしてはどうか、などを議論する機会を設けてほしい。	まちづくり分野に関する勉強会	令和８年度運営方針の詳細については、前回（令和７年１１月）の区政会議で議論いただいたもの。次回の区政会議で、来年度の運営方針策定時に、改めて議論いただきたい。	会議での回答のとおり	総務課 （総合企画）
6	区長表彰は現在「スポーツ」「読書」の２種類だが、児童の個性や活動の幅を広げるため、図工等の新たな表彰区分等も検討してはどうか。	子ども・教育分野に関する勉強会	表彰の在り方について、引き続き検討してまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課 （教育支援）
7	ひがしなり未来力向上サポート事業について、「工場見学会」や「モノづくり体験フェスタ」、「SDGs 宣言」をしている企業・団体等にもサポーター登録してもらってはどうか。	子ども・教育分野に関する勉強会	学校の意見も聞きながら、ご意見のあった企業・団体等にもご協力いただく等、サポーターの増加に取り組んでまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課 （教育支援）
8	資料１：令和７年度東成区運営方針の経営課題２に記載のある不登校に関して、現在どのような取組を行っているのか。	子ども・教育分野に関する勉強会	スペシャルサポートルーム等も導入されている。関係機関と連携しながら取組を進めてまいりたい。子育て支援室でもこどもたちが安心して学校生活を送れるようにすることが大切と考えており、大学教授による、小中学校の先生方に対するこどもたちへの支援方法の提案や授業づくりの助言、教職員対象研修の実施といった支援者支援の事業を実施している。	会議での回答のとおり	市民協働課 （教育支援） 保健福祉課 （児童・保健）

令和8年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
9	不登校に関して、課題が多様化・複雑化しているため、校長等が意見交換できる場を設け、協議してはどうか。	子ども・教育分野に関する勉強会	不登校の原因や課題はケースによって異なるので、一律の対応は難しいと聞いている。課題の解決に向けて、検討してまいりたい。	あるこどもの支援に適した助言が、別のこどもの支援に適するとは限らず、また、個別センシティブな情報も取り扱うことから、意見番号8の「会議での回答」に記載の「大学教授による先生方に対する支援者支援の事業」を各学校で個別に活用していただくことが望ましいと考える。	市民協働課 (教育支援) 保健福祉課 (児童・保健)
10	不登校は非常に難しい問題であり、一番悩んでいるのは保護者である。どうすれば良いかわからない中、学校の先生や仲間に話を聞いてもらえるだけで安心する場合もある。相談先は色々あるが、どのように対応してもらえるのかわからない。	子ども・教育分野に関する勉強会	区役所の子育て支援室には、家庭児童相談員や保育士など子育て相談に応じる職員がおり、家庭訪問や区役所での面談で保護者を孤立させないような取組を行っている。子育ての不安を相談してほしいが、どのような対応か不明とのご意見に関しては今後の課題と認識する。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (児童・保健)
11	地域資源のモノづくりに関しては、こどもモノづくり体験フェスタや工場見学会で積極的に知ってもらう取組をしているが、地域活動はあまりフォーカスされていないことが気になる。町工場が多いのは知られているが、統計ではモノづくりだけでなく商業も増えている。ひとつひとつの地域資源として商店街や地域の活動団体である地域活動協議会や町会を見て回って、こどもの学習につながるプログラムを複数の部門で連携して取り組む。そ	子ども・教育分野に関する勉強会	いただいた意見について検討してまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課

令和８年度第１回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
	れによって、こどもが地域の歴史・文化・モノづくりなど様々な視点で学ぶ機会があればよいと思う。				
12	9月から11月末まで「ひがしなりっ子すくすくつながるスタンプラリー」をしているのだが、もう少し早くしてもらえないか。地域のサークルは、これまで参加してもらっていた親子が保育施設に入園することが多く、年度初めは参加が少ない。スタンプラリーをすると、参加する親子が増えるので、サークルもにぎわう。	子ども・教育分野に関する勉強会	実行委員会において、少し前倒しにしたいという話も出ているのだが、準備期間が必要なこともあり、今年度は昨年度よりは少し早い8月開始予定としている。貴重な意見であるので、再度検討したい。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (児童・保健)
13	人生会議をテーマに、地域団体が参画する学習会を昨年度に引き続き予定しているが、「人生会議」と聞くと深刻に捉えてしまい、参加しにくいと感じる方もいる。同じ内容をくり返すのではなく、多くの方が興味を持ち、前向きな気持ちで参加できるような内容や周知の工夫が必要ではないか。	保健福祉分野に関する勉強会	人生会議をきっかけに、「もしも」のときにどんな医療やケアを希望するかだけを考えるのではなく、そのときまでの人生を自分らしくいきいきと過ごせるように考える機会としていただきたいと考えている。区としてもそういった意図が伝わるような学習会の手法や周知を検討してまいりたい。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (福祉)

令和8年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
14	男性の地域福祉活動への参加を課題としている地域が多いように思われる。活動に対して簡単な目標を設定したり、参加の動機づけとなる開催目的を示すなど、活動の意義や役割を明確に打ち出す工夫などを行うことで、男性に限らず参加しやすい方が増えるのではないかな。	保健福祉分野に関する勉強会	地域福祉活動については、多くの方が参加しやすい活動テーマや手法について各地域で工夫を凝らして実施しているが、男性の参加も含め、これまで活動への参加経験のない方にも興味を持ってもらえるよう、伝えるための工夫が必要であると改めて気づかせていただいた。引き続き、地域福祉活動の実施や展開を支援していくとともに、各地域の好事例について積極的に共有していく。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (福祉)
15	ふれあい喫茶や体操で月7回も地域での活動に参加者として仲間と一緒に参加している。百歳体操など聞いたことのない様々な活動が地域で実施されていることを知った。百歳体操のお手伝いに行っている。参加している方とは顔の見える関係づくりができていますが、周知の課題もある。実際に百歳体操をご存じない方もおられる。参加されていない方にどのようにして体操の場に来てもらい、つながっていくのか、告知の仕方やお誘い方法について課題として考えていきたい。	保健福祉分野に関する勉強会	百歳体操は、おもりを手首や足首につけて行う運動で、初めての方には結構きつい運動であるが、みなさん自分のペースで取り組まれている。区内21か所で実施されている。区役所として、既存の体操グループが継続して体操ができるように、また、良い通いの場が作れるように後方支援をしていきたい。百歳体操のお世話役さんへのアンケート結果において、百歳体操で素敵だと思うところはどんなところですかとの質問に対し、「体操するだけでなく、地域の方同士の会話も大切にされているところが素敵」と回答を頂いている。	会議での回答のとおり	保健福祉課 (児童・保健)

令和８年度第１回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
16	全戸配布されるひがしなりだよりを活用し、地域の震災訓練のお知らせを１枚追加で配付しては。	まちづくり分野に 関する勉強会	—	毎年８月号の広報紙にて、地域の震災訓練日程についてお知らせしております。	市民協働課
17	子どもたちに町会や町の認知度を高めるために、小学生向けのまち歩き探検等のイベントを検討いただきたい。小学校の防災訓練などに地域の防災担当も参加したい。	子ども・教育分野に 関する勉強会	—	子どもたちと一緒に災害訓練に取り組まれている地域もあることから、そういった地域の良い取組をできるだけ他の地域にも共有していけるような場作りを行ってまいりたい。	市民協働課
18	おまもりネット手帳について、作成したけれど家の中に埋もれてしまって使われていないことがある。とても良い取組なので、事業所などと連携し「何かあればこれを見てください」という内容を、ヘルパーなど支援者にも周知してもらいたい。	久保委員	おまもりネット手帳をお持ちの方が支援者と手帳の内容を共有し、その方の生活に有効活用いただけるよう、医療や介護の専門職（特にケアマネジャー）の皆さんなど、関係機関を通して周知していく。	会議での回答のとおり	保健福祉課 （福祉）
19	災害時協力企業等登録事業所の企業間交流について、いつ頃、どのような内容を検討しているのか。	岩崎委員	6/3に大阪商工会議所と連携協定を締結した。モノづくり企業、商店、地域との連携をしていくことになる。今年度か来年度中には企業を絡めたイベントを考えていきたい。	会議での回答のとおり	市民協働課
20	学校に避難所を開設するときは、どのような流れになるのか。	田中委員	事前に開設が必要な状況にある場合は、大阪市危機管理室からも連絡があり、地域の自主防災組織あてご連絡し開設のご相談をさせていただくことがある。 地域で自主的に開設される場合があれば、その際は区役所までご連絡いただきたい。	会議での回答のとおり	市民協働課

令和8年度第1回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
21	個別避難計画について、連合の分は憩いの家に保管し各町会長や民生委員は確認している。しかし、外部へ持ち出しができないと、どの町会に要介護者や車いすで避難できない方がいるのか、他の町会になるとわからない。今後も各町会には保管しない運営となるのか。	田中委員	個人情報の取扱いがあるため、基本的に地域の会館等で鍵のかかる箇所で管理いただくこととなり、外部へは持ち出しできません。	会議での回答のとおり	市民協働課
22	小学校で火災があった場合、地域がどう協力できるかという観点で考えると、学校の訓練に地域防災リーダーとの顔合わせができるとよいのではないか。	竹中委員	子どもたちと一緒に災害訓練に取り組まれている地域もあることから、そういった地域の良い取組をできるだけ他の地域にも共有していけるような場作りを行ってまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課
23	災害時協力企業登録事業所について、登録条件はあるのか。災害時の自助・共助・公助の考えに基づき、自身が対策していないと協力できないという観点からBCP（事業継続計画）を策定している企業等を対象とすればよいのではないか。既に登録している事業所には、策定の啓発もできると考える。	山本委員	災害時登録企業制度への登録条件を明確に、定めていなかったため、BCP（事業継続計画）を策定している企業等を登録対象とするなどの考え方について、今後の参考にさせていただく。	会議での回答のとおり	市民協働課
24	将来ビジョンにもあるように、若い人とのつながりが重要と考えるなら、区政会議委員も20歳・30歳代など若い人が選ばれる仕組みが必要ではないか。多様性の観点からも、外国人や障がいのある方などにも参画してもらえばよいのではないか。	山本委員	次回の委員改選時は、ご意見を踏まえて選定してまいりたい。現時点での多様な世代の意見聴取として、区内の中学生による「ひがしなり未来会議」を実施し、若い世代との意見交換会を実施している。	会議での回答のとおり	総務課 (総合企画)

令和 8 年度第 1 回東成区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名 または 勉強会名	会議での回答	対応方針	担当課
25	青少年指導員は 50 歳、青少年福祉委員は 65 歳が定年となっており、各地域でも担い手がいないので困っていると思う。子ども会も組織が少なくなってきたので、難しいと思うがもっと働き世代の人が入るような場づくりをしていただきたい。	森本委員	担い手の確保については、地域活動を行っておられる方々のご意見も伺いながら、取り組んでまいりたい。	会議での回答のとおり	市民協働課 (教育支援)

令和8年度第1回東成区区政会議 アンケート意見

	意見内容	区の回答	担当課
26	今後、町会の維持が可能かどうか、解散するか、先が見えている。解決策が見当たらない。行政側として将来どのように対策を講じようとしているのか考えを聞かせてほしい。	各地域から町会役員等に集まっていただき、地域課題の共有や改善策・好事例を学び合える場を設けるなど、区としても地域と一緒に、できることから進めてまいります。	市民協働課
27	各連合が地域課題を気軽に共有・意見交換できる場を継続的に設けるとともに、まちづくりセンターには地域をつなぐ役割をより明確に果たしていただきたいです。	各連合の皆さまが地域課題を共有し、意見交換できる機会の重要性は認識しております。今後の運営の中で、状況に応じて情報共有の場づくりについて検討してまいります。 また、まちづくりセンターにつきましても、地域をつなぐ役割を果たせるよう、いただいたご意見を踏まえて関係者間で整理してまいります。	市民協働課